

2018年度
法政大学

総長杯 英語プレゼンテーション大会

募集要項



実施日 2019年2月17日(日)

会場 法政大学市ヶ谷キャンパス

スカイホール(ポアソナード・タワー26階)

主催: 法政大学 高大連携企画委員会

法政大学憲章

自由を生き抜く実践知

法政大学は、近代社会の黎明期にあつて、
権利の意識にめざめ、法律の知識を求める
多くの市井の人びとのために、
無名の若者たちによって設立されました。

校歌に謳うよき師よき友が集い、
人びとの権利を重んじ、多様性を認めあう「自由な学風」と、
なにものにもとらわれることなく公正な社会の実現をめざす
「進取の気象」とを、育んできました。

建学以来のこの精神を受け継ぎ、
地球社会の課題解決に貢献することこそが、本学の使命です。

その使命を全うすべく、
多様な視点と先見性をそなえた研究に取り組むとともに、
社会や人のために、真に自由な思考と行動を貫きとおす
自立した市民を輩出します。

地域から世界まで、あらゆる立場の人びとへの共感に基づく
健全な批判精神をもち、
社会の課題解決につながる「実践知」を創出しつづけ、
世界のどこでも生き抜く力を有する
あまたの卒業生たちと力を合わせて、
法政大学は持続可能な社会の未来に貢献します。

2018年度 法政大学総長杯 英語プレゼンテーション大会

法政高校 法政二高 法政国際高 の皆さんへ

法政大学では、3つの付属校生を対象に、自分の考えを英語で発表する機会を設けるため、「英語プレゼンテーション大会」を開催します。

法政大学は、2014年度スーパーグローバル大学創成支援に採択され、「課題解決先進国日本からサステイナブル社会を構想するグローバル大学の創成」という構想のもと、付属校から大学までの教育過程を通じて、国際感覚豊かでグローバル社会で活躍できる人材の育成に取り組んでいます。

英語プレゼンテーション大会はこの構想の一環として企画されたものであり、①英語マインド（英語コミュニケーションに対する意欲の高揚）の養成、②英語コミュニケーション能力の向上など、これから大学に進学する際の必要なスキルを身に着けることが主な目的となっています。

特に法政大学のグローバル系の学部・学科へ進学を考えている付属校生の皆さんをはじめ、経済社会や文化等々の分野においてグローバルな視野形成をめざす付属校生にとって、チャレンジ精神を養う最適なプログラムです。高校段階までの学習成果の再確認の機会として、これからの将来を見据える付属校生の熱意ある応募を期待しています。

1 英語プレゼンテーション大会

(1) 実施日 2019年2月17日(日)

<大会概要> ※時間は出場者数により変更の可能性あり

13:45~14:00 開会式

14:00~15:30 プレゼンテーション

15:45~16:45 審査、大学教員による座談会企画

16:45~17:00 表彰式(結果発表・表彰・講評・写真撮影他)

(2) 会場 法政大学市ヶ谷キャンパス スカイホール(ボアソナード・タワー26階)

(3) 参加対象 法政大学付属高校の1~3年生

(4) 参加資格 英語を母語としない者

(5) 参加形態 個人参加・チーム参加のいずれも可(チームの場合は1チーム3人以内)

(6) 出場者枠 各校2~3人(又はチーム) / 合計6~9人(又はチーム)とする。

(7) プレゼンのテーマ 「世界のどこでも生き抜く力」 ※「法政大学憲章」の中の言葉です。

法政大学憲章「自由を生き抜く実践知」を考えるにあたっては、「法政フロネシス」のWEBサイトを参考にしてください。

<http://phronesis.hosei.ac.jp/>

(8) プレゼンの方法 ①時間は5分とします。プレゼン後質疑応答を行います。

②プレゼンテーションソフト(PowerPoint, Keynote等)を使用して発表します。

(9) 表彰 ①最優秀賞(法政大学総長賞) 1人(1チーム)

②優秀賞 1人(1チーム)

③外国人留学生審査員賞 1人(1チーム)

※入賞者全員に賞状および副賞、参加者全員に参加記念品贈呈を予定しています。

- (10) 審査項目等
- ①Content (テーマとの関連性, 構成等)
 - ②English (文法, 発音等)
 - ③Slide (デザイン・語句等)
 - ④Impression (話し方, ジェスチャー, 身振り等)
 - ⑤Question and Answer (質疑応答)

(11) 審査員

田中優子 法政大学総長 及び
法政大学教員・付属校教員 5人

(12) 特別審査員

法政大学外国人留学生 5人

(13) 著作権の取扱い

本大会に関する記録(プレゼン資料, 審査結果等)の著作権は法政大学に帰属するものとします。
また広報, 報告等のため, 動画, 静止画等を利用します。

2 応募・スケジュール等

- (1) 応募書類 応募希望者は, 氏名, 学校名, 学年, Eメールアドレス, 緊急連絡先を明記のうえ, 付属校連携室に連絡すること。折り返し付属校連携室から以下の応募書類データ一式をEメール添付にて送付します。

送付先アドレス: fu-renkei@hosei.ac.jp
件名: 英語プレゼンテーション大会出場希望

- ①応募用紙 (様式1)
- ②プレゼンテーション要約 (様式2)
- ③プレゼンテーション原稿 (様式3)

※応募の段階では仮の原稿でも結構です。大会出場までに十分な推敲を重ね, 最終的なプレゼン原稿およびプレゼン用スライドデータは, 2019年2月12日(火)までに 付属校連携室まで提出してください。

- (2) 応募方法 応募書類①~③を付属校連携室宛てにEメール添付で送付してください。

- (3) 応募期間 2018年12月1日(土)~2019年1月12日(土)

- (4) 出場者決定 各付属校にて審査のうえ決定者に通知します。

(5) 大会までのスケジュール

- 1月12日(土) 応募書類提出締切
- 1月18日(金) 出場者決定通知
- 2月 2日(土) 事前ワークショップ① (任意参加)
- 2月 9日(土) 事前ワークショップ② (任意参加)
- 2月12日(火) プレゼン最終原稿・プレゼン用スライド提出
- 2月17日(日) 英語プレゼンテーション大会当日

3 事前ワークショップ（無料） 委託会社：一般財団法人英語教育協議会（ELEC）

出場決定者は、「プレゼンテーション講座」事前ワークショップ（2日間コース）を無料で受講できます。英語プレゼンテーションにまだ自信がない、という方でも、より自信を持って、より聞き手をひきつけるプレゼンテーションができるよう段階を追って実践演習を行っていきます。一緒に楽しみながら頑張りましょう。ワークショップでは、原稿を読むのとは異なるプレゼンテーションでの発表の仕方、ジェスチャー、身体の使い方などを確認し、練習をします。ワークショップ内容を活かして大会まで何度も練習してあなたの英語力、表現力を高めていきましょう。大学でもこの英語プレゼンテーション大会の経験は必ず役に立ちます。ぜひ奮ってご参加ください。

受講申し込み：大会応募用紙にてお申込み下さい。

第1日目 2019年2月2日（土） 13:00～16:30

場 所 法政大学市ヶ谷キャンパス スカイホール（ボアソナード・タワー26階）

第2日目 2019年2月9日（土） 15:00～18:15

場 所 法政大学第二高等学校（木月総合文化棟1階 図書館内学習スペース）

(1) 概要

- ・各自又はグループ毎に大会用のプレゼン資料を持参。
- ・スキルの導入後、プレゼンテーション実践と講師や受講者同士のフィードバック、フィードバックをもとにしたプレゼンテーションの実践、のサイクルをできるだけ多く繰り返し行う。

(2) 目的・目標

- ・プレゼンテーションの実践スキルを理解し、各自の英語プレゼンテーションを練習する。講師、受講生同志のフィードバックを得ることでプレゼンテーションの質を高め、自信をつける。
- ・外国人講師による受講生参加型のワークショップを通じ、英語マインド（英語でコミュニケーションをとろうとする意欲）の養成、英語コミュニケーション能力向上への意欲を高める。

(3) ワークショップ内容

- ・全2日 各日3時間
- ・受講者は大会参加用のプレゼンテーション資料を作成し、ワークショップに持参する。スキルの導入後、実践練習と講師や受講生同志のフィードバックを行う。

① February 2 の Topic	② February 9 の Topic
<ul style="list-style-type: none"> ➢ Verbal Skills <ul style="list-style-type: none"> -Pronunciation, Stress, Intonation 発音、強弱、抑揚について 理解、練習 ➢ Cue Cards ➢ -原稿の使い方、プレゼンテーションの方法について理解、練習 ➢ Presentation Practice and Feedback 理解した内容をもとにプレゼンテーションの実演練習とフィードバック、フィードバックをもとにした練習をできるだけ多く行う。 ➢ Homework <ul style="list-style-type: none"> -Making Cue Cards -Write Questions for Others ➢ -課題：セミナー内容やフィードバックをもとにプレゼンを改善/ 他のプレゼンに対する質問を準備 	<ul style="list-style-type: none"> Dealing with Questions <ul style="list-style-type: none"> • Asking for Clarification • Appropriate Responses • Anticipating Questions -質問への答え方について 理解、練習 Presentation Practice and Feedback 各自又はグループ毎のプレゼンテーションの実演練習、フィードバック、フィードバックをもとにした練習をできるだけ多く行う。

*Topic は、受講者人数により変更の可能性があります。

以 上

主催：法政大学 高大連携企画委員会

問い合わせ先： 法政大学付属校連携室

電話：03-3264-9970

Eメール：fu-renkei@hosei.ac.jp